

総務企業委員会会議録

- 1 日 時 令和4年10月11日(火曜日)
午前9時30分～午前9時40分
- 2 場 所 委員会室
- 3 出席委員 猶野智和 委員長 坪井康男 副委員長
山中佳子 委員 高木法生 委員
岡山隆 委員 村田弘司 委員
山下安憲 委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 委員外出席議員
竹岡昌治 議長
- 6 出席した事務局職員
石田淳司 議会事務局長 西山聖子 議会事務局係長
阿武泰貴 議会事務局主査
- 7 説明のため出席した者の職氏名
波佐間 敏 副市長 山本幸宏 会計管理者
白井栄次 上下水道局長 岡崎輝義 管理業務課長
佐伯憲一 施設課長 西村明久 監査委員事務局長
- 8 会議の次第は次のとおりである。

午前9時30分開会

○委員長（猶野智和君） おはようございます。ただいまより、総務企業委員会を開会いたします。

さきの本会議におきまして、本委員会に付託されました市長提出議案1件につきまして審査いたしたいと思っておりますので、御協力をよろしくお願いいたします。

なお、議案の質疑の後、必要があれば、市長に出席いただき質疑を行い、その後、討論、採決を行うことといたします。

それでは、議案第72号令和3年度美祢市環境衛生事業特別会計決算の認定についてを議題といたします。執行部より説明を求めます。佐伯施設課長。

○施設課長（佐伯憲一君） それでは、議案第72号令和3年度美祢市環境衛生事業特別会計決算の認定について御説明いたします。

主要施策成果報告書は25ページ、各会計歳入歳出決算書は19ページから、各会計決算附属書は141ページからになります。

この事業は、秋吉台・秋芳洞の自然保護と地域の環境衛生向上を目的として、昭和48年度から施設の供用開始をしております。

令和3年度の決算額は、秋吉広谷浄化センター整備事業を計画的に進めていく中で、設計業務の実施により大幅な増となっております。

最初に歳出でございますが、主要施策成果報告書の25ページを御覧ください。

下の表になります。イ歳出についてであります。

1環境衛生事業では、令和3年度決算額は6,351万9,000円となっており、2予備費では、決算額は0円で、歳出の合計は6,351万9,000円となり、前年度と比較して4,572万1,000円の増でございます。

この主な理由といたしましては、秋吉広谷浄化センター整備事業に伴う実施設計などの委託料の増によるものでございます。

次に、各会計決算附属書の147ページを御覧ください。

主な支出といたしましては、上から13行目中段あたりになりますが、2目施設整備費、12委託料として4,552万1,100円を支出しております。

これは、秋吉広谷浄化センター整備事業に伴う実施設計などの3業務の委託料で、このうち2,773万円を翌年度繰越額として、翌年へ繰り越しをしております。

また、その委託料の不用額といたしまして799万8,900円を計上しております。

この不用額につきましては、設計業務を進めていく上で、設計業務内容の変更に
対応するための財源として確保しておりましたが、実際には増額等の大きな変更が
なかったため、不用額として計上したものでございます。

次に、下から10行目になりますが、1目処分場管理費、10需用費として453万
8,088円を支出しております。不用額が110万1,912円となっております。この不用
額の主なものとしたしましては、修繕料であり、不測の事態に備えて予算を確保し
ておりましたが、幸いなことに大きな支出を伴う施設設備などの故障が発生しな
かったため、不用額として計上したものでございます。

次に、下から8行目になりますが、1目処分場管理費、12委託料として835万990
円を支出しております。

これは、秋吉地域し尿処理施設の維持管理をするための委託料であり、秋吉地域
環境衛生施設維持管理業務などの8業務を実施したことによるものでございます。

次に、歳入でございますが、主要施策成果報告書の25ページを御覧ください。

中ほどの表になります。ア歳出についてであります。

1 分担金及び――すみません、失礼しました。歳入についてでございます。

1 分担金及び負担金については、令和3年度決算額は0円でございます。次の2
使用料及び手数料については、決算額は397万円で、店舗などの使用料の増に伴い、
前年度と比較して、決算額では56万8,000円の増、増減率は16.7%の増でございま
す。

3 繰入金については、決算額は1,517万6,000円となっております。

前年度と比較して、決算額は78万3,000円の増、増減率は5.4%の増でございます。

この理由としては、前年度と比較して歳出の総額が増加に伴い、一般会計からの
繰入金も増額となったものでございます。

4 諸収入でございますが、決算額は3,000円となっております。

5 国庫支出金については、決算額は2,223万5,000円となっており、次の6市債に
ついては、決算額は2,220万円となっております。

このことについては、それぞれ秋吉広谷浄化センター整備事業に伴う実施設計な
どの委託料に関わる国庫支出金及び市債でございます。

以上のことから、歳入合計は6,358万4,000円でございます。

なお、歳入総額6,358万4,000円と歳出総額6,351万9,000円との差引き額が6万

5,000円となっておりますが、この差引き額は、秋吉広谷浄化センター整備事業において、委託料を翌年度へ繰り越しをしておりますことから、翌年度への繰越財源として繰り越しをしております。

以上で説明を終わります。

○委員長（猶野智和君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

それでは、本議案について、市長に出席いただくかどうか、委員の皆さんの御意見をいただきたいと思いますが、いかがいたしましょうか。（発言する者あり）

それでは、質疑なしと認め、議案の討論、採決に入ります。本案に対する御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 御意見なしと認め、討論を終わります。

それでは、これより議案第72号を採決いたします。本案について、原案のとおり認定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 全員異議なしと認めます。よって、議案第72号は原案のとおり認定されました。

以上をもちまして、本会議で本委員会に付託されました議案1件につきましての審査を終了いたしました。

その他、委員の皆さんから所管事項につきまして何かございましたら、発言をお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） ないようでしたら、これにて本委員会を閉会いたします。御審査、御協力、誠にありがとうございました。お疲れさまでございました。

午前9時40分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

令和4年10月11日

総務企業委員長